

## 5 年 間

佐藤 サチ

別府大学司書課程で教えるようになって、もう 5 年になります。

この 5 年間に何をしたのか記録をとろうと思いました。5 年は切のよい数ですし、後になれば記憶の薄闇にまぎれてもっと思い出しにくくなっているでしょうから。

< 2004 (平成16) 年度 >

資料組織演習 (通年) 2 クラス

情報検索演習 (後期)

レファレンスサービス演習 (後期)

< 2005 (平成17) 年度 >

資料組織演習 (通年) 2 クラス

情報検索演習 (後期)

レファレンスサービス演習 (後期)

< 2006 (平成18) 年度 >

資料組織演習 (通年) 2 クラス

資料組織概説 (前期)

レファレンスサービス演習 (後期) 2 クラス

< 2007 (平成19) 年度 >

資料組織演習 (通年) 2 クラス

資料組織概説 (前期)

現代図書館論 (後期)

レファレンスサービス演習 (後期)

< 2008 (平成20) 年度 >

資料組織演習 (通年)

資料組織概説 (前期)

図書館サービス論 (後期)

公共図書館員から大学図書館員兼非常勤講師になったのは、それ以前から「司書講習」の講師をしていたという縁からです。

この際、「司書講習」の担当科目も記録しておきます。

1997～2004年度	司書補	図書館サービスの基礎
2005～2006年度	司書	資料組織演習（分類）
	司書補	図書館サービスの基礎
2007年度	司書	資料組織演習（目録）
	司書	資料組織演習（分類）
2008年度	司書補	図書館サービスの基礎

教員免許状を持っているとはいえ、まるっきりのペーパーティーチャーです。単発の研修や講演等で話したことはありますが、90分・15コマ（しかも集中講義方式）は未経験で大河の前で立ちすくむ心地でした。しかし、佐藤先生に励ましていただき、同じ道をたどった先輩方の存在を思い出し、講義内容は体になじんだものだから問題はそれをどう構成するかだと考えることにしました。司書養成の科目が変更された年で、新しいカリキュラムに対応した市販のテキストが出揃っていないため、自分でレジュメを作りました。1997年の夏、普段は保険証を使うことのない生活なのに、お医者さんと「仕事は休めませんか」、「はい、休めません」という会話をしたことを記憶しています。

今、『司書課程年報』No8に掲載された拙文「1年目の感想」を読み返してみると、あまり変わっていないのではと感じます。講義内容を理解してもらい難しさ、けれども司書としての基礎を身につけてもらいたいこと、図書館員の仕事の多様性や楽しさを伝えたいことなどです。

一番大きな変化は学生との関係です。生来の人見知りで人と関わりを持つのに時間がかかるのですが、学生とはかなり近づけるようになりました。学生としてのかたまりではなく一人ひとりの個人として話ができるととてもうれしくなります。専攻以外に司書の資格を取ろうと志し（もちろん本命の学生もいます）努力している様子を見ると「しっかり！」と応援したくなります。ついでに言わせてもらおうと、図書館業界に限らず現在の日本の雇用実態は腹立たしいかぎりです。

大学図書館員としては、ILL業務を担当しています。学内から学外への複写・貸借依頼、学外からの複写・貸借依頼をどう効率的に捌くかが眼目ですが、機械的ではない、司書としての注意の行き届いた処理を目指しています。

また、カウンターでは片手間で貸出返却をしないように心掛けています。そんな時に学生と本の話ができたりします。

振り返ってみると、いろいろあったけど楽しい5年間です。

（さとう・さち 別府大学附属図書館）